

### GlobalvoiceCALL で「英語のプレゼンテーション能力」を向上させる

青山学院大学 経済学部  
教授 (Ph.D.) 小張敬之 様



GlobalvoiceCALL

ユビキタス環境の中で、モバイルも含め、ICT 機器を駆使して、英語力を鍛えるべく、プロジェクト型学習を通して、学生たちを厳しく指導しています。調べ学習（例：世界遺産）が中心で、PPT スライドを作成し、Digital story telling を作成した後、英語で発表をして、最後に発表したものを blog writing をしてオンラインにアップするのが、その学習過程です。

特に Presentation を指導する際に、GlobalvoiceCALL (GVC) が大いに役立ちます。事前に英文の発表に使用する文章や単語を「メモ帳」のソフトを使用して書かせる課題を出します。教室では、発表をする前に、発音しにくい単語を徹底的に訓練します。また、文のレベルでも、メモ帳に書いてきた文章を GVC ソフトの「センテンス機能」に入れて、モデル音声を何度も聞きながら、prosody (韻律) のレベルで練習をさせます。自分の弱点を発見して何度か練習した後で、本番の PPT スライドだけを使用して、英語の発表に臨みます。このような訓練をしていると、単語の発音や韻律のレベルでもより英語らしく発表ができるようになります。

私の教育方針は “Dominus illuminatio mea” で、これはオックスフォード大学のモットーでもあり、旧約聖書 27 篇 1 節です。英語はあくまでもコミュニケーションの手段であって、最も大切なのは、「神学や科学」を学び、自分の世界観を持ち、相手の世界観を理解することです。これからは、世界の人々のコミュニケーションがますます重要になってきます。そのためにも、GVC は強い味方になってくれると思います。

[2013.06.18]



青山学院大学

<http://www.aoyama.ac.jp/>



青山学院大学

AOYAMA GAKUIN UNIVERSITY

青山学院大学 経済学部 教授小張敬之

<http://raweb.jm.aoyama.ac.jp/aguhp/KgApp?kyoinId=ymksgyymggy>